



学校便り 「志々伎の風」

No.2

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年4月19日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【スタートダッシュの4月】

1年生10名が入学し、43名全員集合です。40名を超えるのは久しぶりです。

1年生10名は、緊張しながらも、しっかりと大きな声で返事やお礼を言っていました。入学してからの1週間、10名全員、元気に登校しています。ご家庭での支えのおかげです。ありがとうございます。

プロ野球が開幕して、スタートダッシュを切っているチーム、つまずいているチームなど様々です。スタートダッシュを切ったチームは、心に余裕が生まれポジティブになり、よい方向に進んでいくことができます。逆に、つまずいたチームは、ネガティブになりやすく、かなりのエネルギーを使って軌道修正することが求められます。



学校・学級も同様で、4月が1番の勝負月です。保護者の皆様と学校が心を一つにしていきましょう。

【親子で読書・みんなで読書】



春です。虫も草木も明るくウキウキしています。楽しそうなみんなを見て、うらやましくなった魔女のドッコイショは、自分の黒い魔女服が嫌になります。

魔法で春らしいドレスを作ります。ところが、それを着ると魔法が使えなくなってしまう…。とてもゆかいなお話です。

【着任しました】

複式支援員…〇〇 〇〇

(田平南小学校より)

2度目の志々伎小学校勤務になりました。また、志々伎小の子どもたちと過ごすことができることを嬉しく思います。元気いっぱいの子どもたちと楽しく過ごしたいと思います。

どうぞ、よろしく申し上げます。

【縦割り開き】

志々伎小学校では、小規模校のよさを生かして縦割り班活動を数多く行っています。今年度は、6つの班があります。4月13日に最初の顔合わせを行いました。自己紹介の後6年生が考えたゲームを行い、チームの親睦を深めました。また、17日には、運動会に向けて運動場の草取りを行いました。

縦割り活動を行うことで、6年生は最高学年としての意識が高まり、4・5年生は2・3年生をお世話することで、サブリーダーとしての意識が高まります。1～3年生は上級生から、自分たちのゴールの姿を明確に持つことができ、がんばることができます。

